

高知県感染症発生動向調査（月報）

2025年11月

高知県感染症情報センター
高知県衛生環境研究所
TEL:088-821-4961 FAX:088-821-4696

全国情報

第45週(11月3日～)から第48週(～11月30日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における上位6疾患の合計は194.73で10月の4週換算値68.92と比べて大きく増加し、同月としては過去10年間で最多だった。増加の原因はインフルエンザの流行である。

新型コロナウイルス感染症について、全国と高知県の定点報告数を図1に示す。2025年は第24週以降に増加し、5年連続の夏の流行となった。34週の8.73をピークに減少に転じた。2024年12月～1月の流行と2025年7～8月の流行は同程度の流行規模となり、2024年の流行よりも小さかった。

1位はインフルエンザで155.66(10月1位4週換算値22.70)と増加した。2位は感染性胃腸炎で14.94(同2位15.03)と横ばいだった。3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で8.87(同4位7.46)と増加した。4位は新型コロナウイルス感染症で6.94(同3位12.51)と減少した。5位はマイコプラズマ肺炎で5.36(同5位5.71)と横ばいだった。6位はRSウイルス感染症で2.96(同6位5.51)と減少した。急性呼吸器感染症は365.30で10月の4週換算値252.24と比べて増加した。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	45週	46週	47週	48週	計
1	インフルエンザ	21.82	37.73	51.12	44.99	155.66
2	感染性胃腸炎	3.40	3.98	4.01	3.55	14.94
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.97	2.46	2.38	2.06	8.87
4	新型コロナウイルス感染症	1.95	1.91	1.64	1.44	6.94
5	マイコプラズマ肺炎	1.42	1.48	1.30	1.16	5.36
6	RSウイルス感染症	0.88	0.77	0.73	0.58	2.96
	急性呼吸器感染症	78.35	94.77	103.38	88.80	365.30

県内情報

1. 全国との対比(定点当たり報告数) 上位6疾患の県内における報告数の合計は76.07で10月の4週間換算値44.26と比べて増加したが、全国よりも少なかった(表2)が、過去10年の同月としては2023年に次いで2番目に多かった。県下でもインフルエンザの流行が始まり、増加の主たる原因となった。しかし10月に続いて11月も、高知県は定点当たり報告数が全国都道府県別集計で最も少なかった。これまでのところ、今季のインフルエンザの報告数は東で多く西で少ない傾向がある。

1位はインフルエンザで42.53(10月7位4週換算値1.86)と増加したが全国よりも少なかった。2位は新型コロナウイルス感染症で11.88(同1位15.69)と減少したが全国よりも多かった。3位は感染性胃腸炎で8.45(同3位7.44)と増加したが全国よりも少なかった。4位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で6.20(同6位3.76)と増加したが全国よりも少なかった。5位は伝染性紅斑で3.75(同5位4.32)と減少したが全国よりも多かった。6位はマイコプラズマ肺炎で3.26(同4位4.81)と減少し全国よりも少なかった。急性呼吸器感染症は187.11で10月の4週換算値154.74から増加したが全国よりも少なかった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	45週	46週	47週	48週	計
1	インフルエンザ		3.13	7.08	13.21	19.11	42.53
2	新型コロナウイルス感染症		3.55	3.39	2.68	2.26	11.88
3	感染性胃腸炎		1.65	2.50	1.95	2.35	8.45
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.10	1.80	1.85	1.45	6.20
5	伝染性紅斑		1.40	1.00	0.75	0.60	3.75
6	マイコプラズマ肺炎		0.88	0.75	0.75	0.88	3.26
	急性呼吸器感染症		42.84	44.45	49.66	50.16	187.11

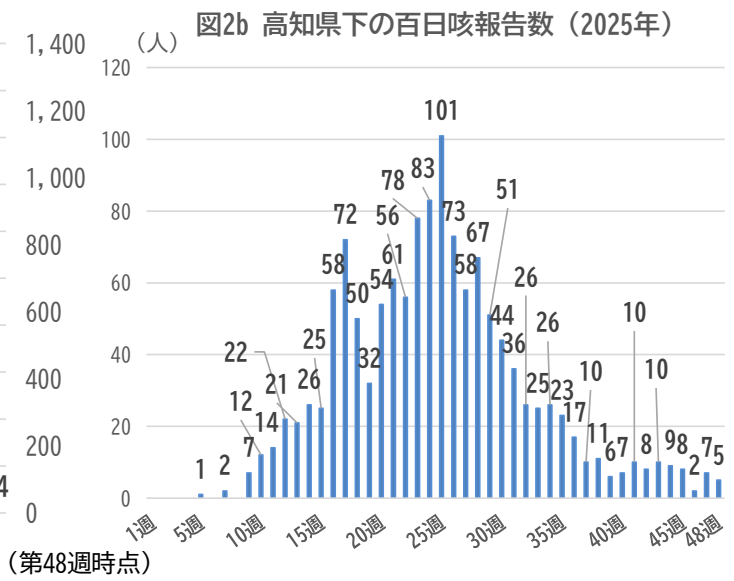
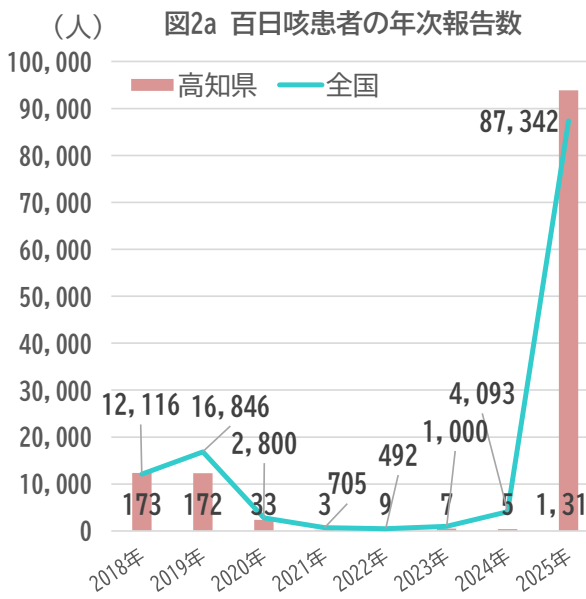
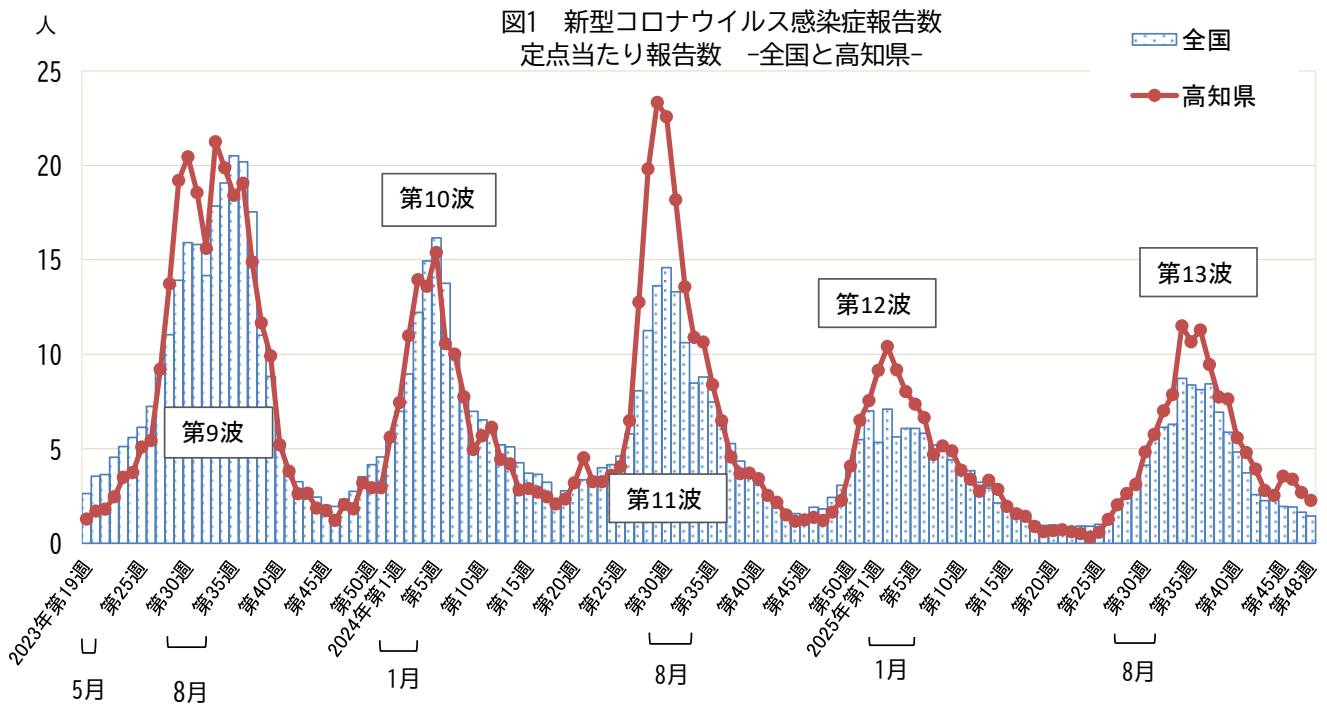
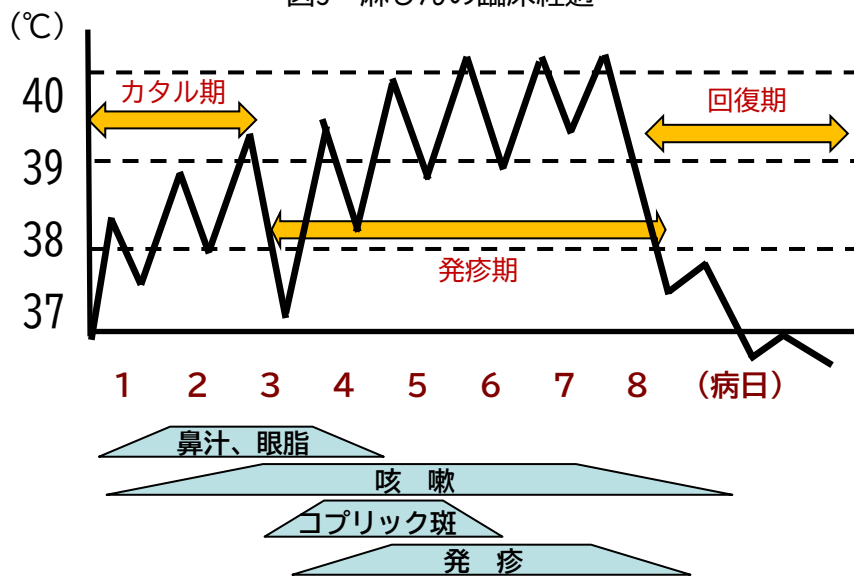


表3 2025年 高知県で検出された新型コロナウイルスの変異株

月	オミクロン株																			総計	
	KP. 3	LP. 8	MC. 1	MC. 28	NB. 1	NB. 1. 8. 1	PQ. 2	PQ. 4	PQ. 5	PQ. 8	PQ. 17	PQ. 24	PQ. 31	XEC	XEC. 2	XEC. 4	XEC. 5	XEC. 6	XEC. 8		XEK
1	5			1										3	7	1	1			1	19
2	1		2											2	5	3				1	14
3		1	1												8	2				1	13
4			2		1									2	2	2					9
5																				1	1
6																					0
7						6	1									1			1		9
8						6	2	2	1		1		1								13
9						4	4			1	2	1									12
10							2														2
11																					0

直近3か月 ウイルス検出数	KP. 3	LP. 8	MC. 1	MC. 28	NB. 1	NB. 1. 8. 1	PQ. 2	PQ. 4	PQ. 5	PQ. 8	PQ. 17	PQ. 24	PQ. 31	XEC	XEC. 2	XEC. 4	XEC. 5	XEC. 6	XEC. 8	XEK	総計	
						4	6			1	2	1										14
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	42.9	0.0	0.0	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

図3 麻しんの臨床経過



2. 全体の傾向

風しんの報告無し。

麻しん（はしか）4名。第46週に高知市保健所管内の医療機関から、高知県として2008年以来（全数報告が義務付けられた）17年ぶりに麻しんの報告があった。患者は30代男性で関東に滞在中に感染し11月7日に発症、入院（11月11日）を要する重症例だった。この発端者が入院した病院で職員3人（30代女性が同24日、40代男性が22日、30代女性が27日）が相次いで麻しんを発症した。

麻しんはきわめて感染力が強く、しかも脳炎、亜急性硬化性全脳炎;SSPE 等々の合併症を起こすウイルス感染症である。空気感染するので顔を合わせることもなくとも、同じ空調のエリアにいただけで感染が成立する。図3（臨床経過）に示す経過をたどり、カタル期（熱、咳、鼻水、眼脂が症状）がもっとも感染力が強い。しかし、カタル期では発疹や診断的価値のあるコプリック斑が出ず、同様に、ワクチン接種後の麻しん「修飾麻しん」も、潜伏期が長い、発熱期間が短い、発疹が非定型的、コプリック斑を欠く為、いずれも確定診断には検査が必要である。

麻しんの感染拡大を防ぐことの難しさを考慮すると、麻しんへの対応は予防に尽きるといってよい。すなわち、麻しん含有（麻しん風しん）ワクチンの2回接種を徹底することに尽きる。麻しんワクチンの効果は絶大である。2回接種していれば麻しんに罹る頻度は激減し、たとえ罹ったとしても軽症であり、周囲にうつす（伝播する）ことはまれである。

現在、国内では、麻しん患者は、20代、30代、40代の患者だけで63%を占め「麻しんは成人の病気である」ことの認識が重要である。日本の定期予防接種制度のもとでは、52～53歳以上の者は麻しんワクチンを1回も受けていない（麻しんに罹っている者が多い）。35～52歳の者は1回だけワクチンを受けている。25～35歳の者は経過措置で（第3期、第4期接種と呼ぶ）2回目の接種を受ける権利があったが、接種率が低かった。25歳以下の者は2回接種を受ける機会があった。ただし親御さんが予防接種にきちんと連れて行っ

ていればの話である。

現在、麻しん風しんワクチンは1歳時（第1期）と就学前の1年間（第2期）の2回定期接種を受ける機会がある。集団の中で95%以上のワクチン接種率があれば、麻しんは流行しないとされるが、近年とくにコロナ禍以降、麻しん風しんワクチンの接種率が低下している。2024年では、高知県は第1期が91.0%、第2期は実に89.4%と低迷していることが課題である（2024年度都道府県別麻しんワクチン接種率：https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/topics/vaccination-rate/measles-rubella/2024/2024_0-1.pdf）。現状で第一にできることは、定期の麻しん風しんワクチンの徹底である。なお、ワクチン不足が生じているため、目下、第1期対象児（2022年4月2日～2023年4月1日生まれ）、第2期の対象児（2018年4月2日～2019年4月1日生まれ）でタイムリーに麻しん風しんワクチンの接種ができなかった児は、2025年4月1日から2027年3月31日までの2年間、接種対象期間を超えて定期接種として予防接種を受けることができるので、積極的に勧奨したい（<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001440529.pdf>）。

定期接種の対象から絶対的に外れているのは乳児（0歳児）で、リスクを限りなくゼロに近づけるためには、医療施設の職員と保育施設の職員に対して、麻しん風しんワクチン接種歴を母子手帳で確認し、ワクチンを0回か1回しか受けていない、または麻しん抗体価（EIA法）がEIAインデックスが16.0未満であれば速やかに麻しん風疹ワクチン接種を受けさせることが望ましい。また、清掃、警備など関係する業者にも対応が必要である。

2000～2001年には高知県で1万人規模の麻しん流行を経験した。このときのような大流行に発展しないように対応したい。また、このまま流行が収まるとしても「のど元過ぎれば・・・」ではなく、医療者のみならず県民が、平時からしっかり予防接種等の備えをしておくことが重要である。

本年2月から県下で百日咳の発生届が増加し、第48週までに1,314件が報告された。全数報告が開始された2018年以降で、本年が最大の報告数となった（図2a, 図2b）。7月以降は減少傾向に転じている。全国各地でマクロライド薬耐性の百日咳菌の報告が相次ぎ、高知県の調査では、2025年4月～6月に採取された百日咳患者の60検体のうち17検体（28%）が、マクロライド耐性百日咳菌であった。県外で死亡例や人工呼吸管理を要する乳児期早期例が報告されているが、県下でもネーザルハイフローによる呼吸補助を要する乳児例が複数報告されている。

3. 主な疾患の発生状況

1) 急性呼吸器感染症

報告数 7,110名（10月 7,350名）。2025年4月7日からサーベイランスが開始された。報告数は10月の4週換算値に比べて増加し、高知市、中央西、中央東、須崎、幡多、安芸の順に多く報告された。解析が終了した10月提出分を集計する。提出された31件の検体のうち28件（90.3%）からウイルスが検出された。その内訳は、SARS-CoV-2 17件、Rhinovirusが4件、Parainfluenza virus 4型が3件、同3型、Respiratory syncytial virus B、Adenovirus 1型、同2型、Enterovirus NT が各1件検出された。11月は28件の検体が提出され、目下解析中である。

2) インフルエンザ

報告数 1,616名（10月 88名）。11月にインフルエンザは増加したが、前月に続いて高知県は全国の都道府県で最も少なかった。県下全域で報告があり、須崎、高知市、中央東、中央西、幡多、安芸の順に多かった。厚生労働省は全国が10月3日にインフルエンザが流行シーズンに入ったと発表し、subclade Kという変異ウイルスが蔓延している。7月以降に、AH3 NTが16件、A not subtypedが4件、AH1pdm09とB Victoriaが各3件、B NTが1件検出されている（すべて急性呼吸器感染症として提出）。本格的な流行に入った沖縄県や埼玉県においてはAH3（A香港）が主流のウイルス株になっている。

3) 新型コロナウイルス感染症

報告数 452名（10月 745名）。図1に2023年5月以降の定点報告数を示す。波の高さは減衰する傾向にあるが、年末年始と夏に流行する傾向は変わらない。県下全域から報告があり、中央西、中央東、須崎、安芸、高知市、幡多の順に多かった。2025年に県下で採取されたウイルス株の解析結果を表3に示す。9～10月は、PQ.2が最多で6件（42.9%）、NB.1.8.1が4件（28.6%）、PQ.17が2件、PQ.8、PQ.24が各1件検出された。

4) 咽頭結膜熱

報告数 23名（10月 18名）。2023年10月～2024年3月は、同時期として過去10年間で最多が続いたが、2024年5月以降は平年並である。幡多、高知市、中央東＝中央西から表記の順に多く報告があった。急性呼吸器感染症の患者からAdenovirus NTが2件、同1型、2型が各1件検出された。

5) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 124名(10月 94名)。2024年は過去10年間で最多だったが、2025年は平年並で推移している。須崎以外から報告があり、高知市、幡多、中央東＝中央西、安芸の順に多く報告された。細菌は検出されていない。

6) 感染性胃腸炎

報告数 169名(10月 186名)。2020年以降は少ない数で推移していた。2025年3月に増加がみられたが、4月以降は平年並である。県下全域から報告があり、高知市、幡多がとくに多かった。病原体は検出されていない。

7) 水痘

報告数 27名(10月 18名)。ワクチン定期化の効果で少ない数で推移しているが、稀少な感染症となったわけではない。中央西以外から報告があり、須崎がとくに多かった。

8) 手足口病

報告数 7名(10月 26名)。2024年は4月に始まる二峰性流行(流行株はCoxsackievirus A6、A10とA16の3種類)となり、過去10年間で最大規模だった。2025年は5月に流行が始まり、7月の93名をピークに減少に転じた。中央東＝高知市＝須崎から報告があった。ウイルスは検出されていない。

9) 伝染性紅斑

報告数 75名(10月 108名)。2024年10月から増加し、2025年は過去10年間で最大の年間報告数となった。県下全域から報告があり、中央西、高知市、中央東、幡多、須崎、安芸の順に多かった。Human parvovirus B19は、重症貧血を起し、妊婦に感染すると胎児水腫および流産の原因となることに注意する。伝染性紅斑と診断された者から同ウイルスが3件検出されている。

10) 突発性発疹

報告数 10名(10月 22名)。想定内の変動である。

11) ヘルパンギーナ

報告数 1名(10月 17名)。2022年は過去10年間で最小、翌2023年は最大の流行であった。2024年は5月から流行が始まり6月をピークとする標準的な規模で、原因ウイルスが不明だった。2025年は5月から増え始め7月488名をピークに減少し、流行は11月に終息した。今季の流行株はCoxsackievirus A4で、6-8月に計10件検出されている。

12) 流行性耳下腺炎

報告数 1名(10月 2名)。2020年5月以降は一桁の報告数で推移している。中央東で1名が報告された。

13) RSウイルス感染症

報告数 37名(10月 206名)。2021年から4年連続で夏に流行した。2025年は1月に増えはじめ、3月と10月にピークを形成し二峰性の流行となった。安芸以外から報告があり、須崎、高知市、中央東、幡多、中央西の順に多かった。急性呼吸器感染症の患者からRespiratory syncytial virus Bが1件検出された。

RSウイルス感染症は全ての子どもが2歳までに発症し、年少で発症するほど重症で入院リスクが高い。須崎市では6月から、この疾患を予防するモノクローナル抗体(ニルセビマブ)の健常乳児への投与を公費負担する取り組みを開始した。そんな中、妊婦を対象としたRSウイルスワクチン(アブリスボ[®])が2026年度から定期化されることが11月に報道された。

14) 流行性角結膜炎

報告数 2名(10月 0名)。2019年以降は一桁の報告数で推移している。高知市で2名報告された。

15) 細菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)

報告数 0名(10月 0名)。2017年以降は年間一桁の報告数で推移していたが、2024年は11名に達した。本年は累計3名である。

16) 無菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)

報告数 0名（10月 0名）。従来は年間20～30名台の報告数で推移していたが、2017年以降は一桁の数で推移している。

17) マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 26名（10月 48名）。2024年は過去10年間で最大の流行となり、同10月をピークに減少に転じたが2025年になっても報告は続いている。幡多と高知市から報告された。

基幹定点の月報疾患

18) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 20名（10月 29名）。中央東と高知市から報告された。

19) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名（10月 0名）。2015年以降は、年間0～2名の報告にとどまっていたが、本年はすでに累計4名となっている。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

【参考】

全数報告

年別全数報告数（令和7年11月）

類型	病名	報告年																
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	
2	結核	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	52	
	計	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	52	
3	コレラ	1																
	細菌性赤痢							2										
	腸管出血性大腸菌感染症	12	3	8	3	5	2	34	2	4	9	1		3	7	5	12	
	腸チフス						1				1							
	パラチフス																	
	計	13	3	8	3	5	3	34	4	4	10	1	0	3	7	5	12	
4	A型肝炎	3					3	1			2					1	1	
	E型肝炎	1		1							2	1		1				
	オウム病								1									
	Q熱																	
	サル痘														1			
	重症熱性血小板減少症候群				3	11	3	7	5	5	9	6	4	8	10	10	15	
	つつが虫病	2	5	8	3	3		4	11	2	3	3	1	5	11	3	1	
	デング熱	1			3	2	1				2							
	日本紅斑熱	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10	23	16	12	16	9	25	
	日本脳炎	1																
	マラリア		1								1				1	1		
	レジオネラ症	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	8	8	8	7	8	10	
	レプトスピラ症		4	2	1				1						1		1	
	計	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	41	29	34	47	32	53	
5	アメーバ赤痢	2	2	3		7	3	2	5	3	3		1	5	1	1		
	ウイルス性肝炎	3		3		1			2	1	1	2	2	2	1		2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					7	19	21	22	21	20	10	5	12	9	11	12	
	急性弛緩性麻痺									1	2				1	2		
	急性脳炎	1	3	1		1	1	1	1		2	1	1	2			2	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3				2			2	1	1	3		1	1			
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	3		1		3	5	6	2	2	5	4	1	6	2	
	後天性免疫不全症候群	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	6		6	2	4	2	
	ジアルジア症		1	1							1							2
	侵襲性インフルエンザ感染症					1	5	3	4	7	3	1	1	3	7	9	7	
	侵襲性肺炎球菌感染症				1	4	12	16	18	14	22	11	9	6	12	18	14	
	侵襲性髄膜炎菌感染症					2	1	1	3		3	3	3	1		1		
	水痘（入院例に限る）					2	1	1	3		3	3	3	1			5	
	梅毒	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	35	96	51	62	40	32	
	播種性クリプトコックス症						1	3	5					4	3	1		
	破傷風	1	1	1		4	3	3	1		2	3	1	3	1	1	2	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						1		1	1								
	百日咳									173	172	35	3	9	7	4	1,310	
	風しん			4	9	1				3								
	麻しん																4	
	計	14	15	29	40	63	72	94	268	251	112	130	114	110	97	1,397		
動物	鳥インフルエンザ		1															
	計		1															
	総計	201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	214	224	224	217	196	1,514	

類型	病名	報告月											総計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
2	結核	4	4	7	1	2	6	10	5	4	2	7	52	
3	腸管出血性大腸菌感染症		1	1			1	2	1	1		5	12	
4	A型肝炎			1									1	
	重症熱性血小板減少症候群				1	5	5	3			1		15	
	つつが虫病											1	1	
	日本紅斑熱					11	3	2	2	1	4	2	25	
	レジオネラ症	1		1		1	1	1	1	2	2		10	
	レプトスピラ症											1	1	
5	ウイルス性肝炎		1	1									2	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		1				1	4	4	1	1		12	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1		1								2	
	急性脳炎							1			1		2	
	後天性免疫不全症候群				1	1							2	
	ジアルジア症								1	1			2	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	1		2	1	2					7	
	侵襲性髄膜炎菌感染症					1							1	
	侵襲性肺炎球菌感染症	4		2	1		1	2	1	2		1	14	
	水痘（入院例に限る）	1		1		1		1		1			5	
	梅毒	4	7	2	3	4	2	1	1	2	3	3	32	
	破傷風											1	1	2
	百日咳	1	8	62	164	267	317	275	100	52	42	22	1,310	
麻しん											4	4		
総計		15	24	79	172	295	338	304	116	67	58	46	1,514	

高知県感染症情報 月報 (55定点医療機関)

2025年

11月

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
急性呼吸器感染症	急性呼吸器感染症 (ARI)	264	1,130	3,553	822	582	759	7,110	7,350	
	インフルエンザ	46	323	687	158	216	186	1,616	88	168
	新型コロナウイルス感染症	39	102	145	62	57	47	452	745	239
小児科	咽頭結膜熱		2	12	1		8	23	18	25
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	10	93	5		15	124	94	261
	感染性胃腸炎	4	7	116	11	8	23	169	186	171
	水痘	1	5	10		7	4	27	18	16
	手足口病		2	4		1		7	26	566
	伝染性紅斑	1	12	42	12	3	5	75	108	24
	突発性発疹		2	4	1	2	1	10	22	32
	ヘルパンギーナ		1					1	17	12
	流行性耳下腺炎		1					1	2	1
	RSウイルス感染症		6	17	2	8	4	37	206	24
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			2				2		4
STD	性器クラミジア感染症			4				4	6	9
	性器ヘルペスウイルス感染症		1					1	1	
	尖圭コンジローマ									1
	淋菌感染症			1				1	3	2
基幹	細菌性髄膜炎									
	無菌性髄膜炎									
	マイコプラズマ肺炎			17			9	26	48	61
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る)									
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		4	16				20	29	26
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計(ARIを除く)		92	478	1,170	252	302	302	2,596	1,617	1,642
前月		48	206	804	160	135	264			
前年同月		68	291	653	134	214	282			
小児科定点数		1	4	8	2	2	3			

高知県感染症情報 月報 (55定点医療機関)

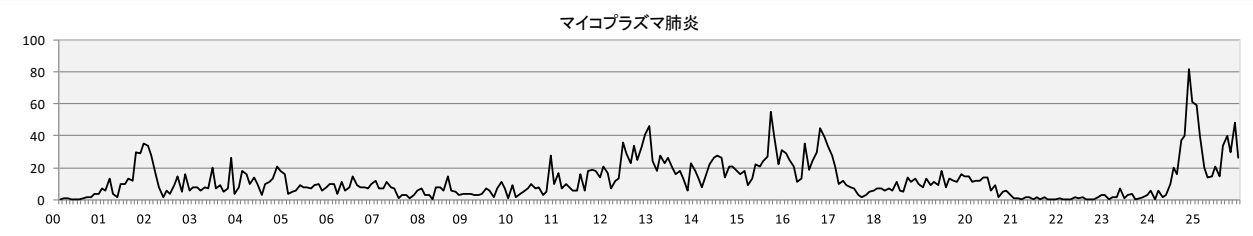
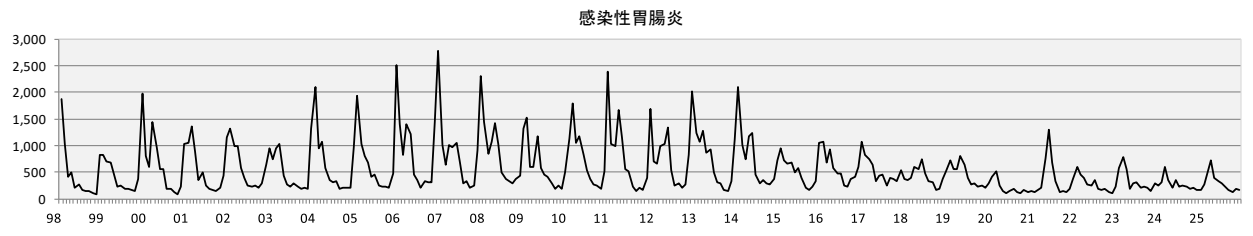
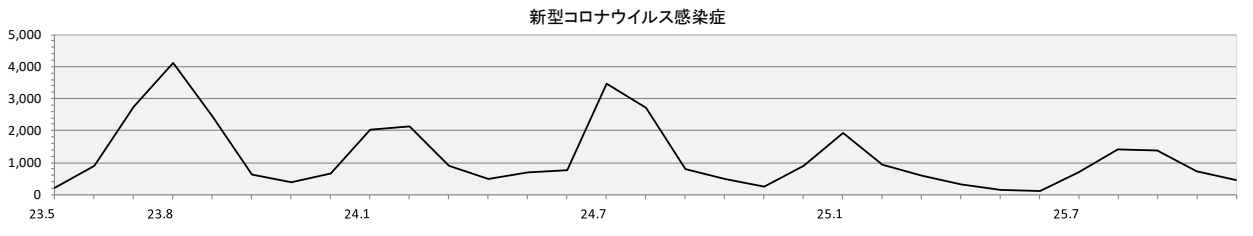
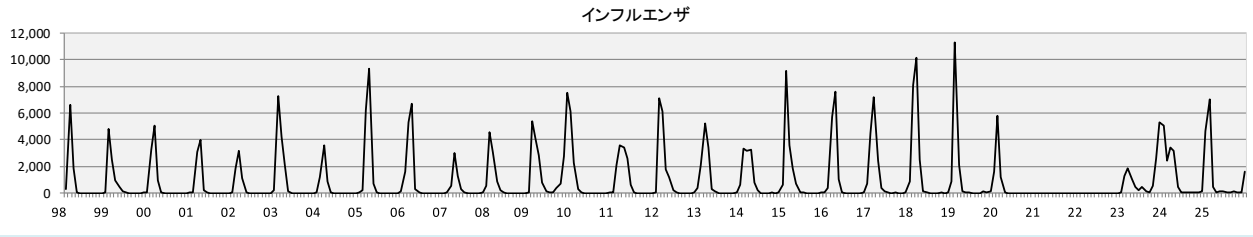
2025年

11月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
急性呼吸器感染症	急性呼吸器感染症 (ARI)	88.00	161.43	273.31	205.50	145.50	108.43	187.11	193.42	
	インフルエンザ	15.32	46.13	52.84	39.50	54.00	26.57	42.53	2.32	3.82
	新型コロナウイルス感染症	13.01	14.57	11.15	15.50	14.25	6.72	11.88	19.61	5.43
小児科	咽頭結膜熱		0.50	1.50	0.50		2.66	1.15	0.90	1.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	2.50	11.63	2.50		5.00	6.20	4.70	10.44
	感染性胃腸炎	4.00	1.75	14.51	5.50	4.00	7.67	8.45	9.30	6.84
	水痘	1.00	1.25	1.26		3.50	1.33	1.35	0.90	0.64
	手足口病		0.50	0.50		0.50		0.35	1.30	22.64
	伝染性紅斑	1.00	3.00	5.26	6.00	1.50	1.66	3.75	5.40	0.96
	突発性発疹		0.50	0.51	0.50	1.00	0.33	0.50	1.10	1.28
	ヘルパンギーナ		0.25					0.05	0.85	0.48
	流行性耳下腺炎		0.25					0.05	0.10	0.04
	RSウイルス感染症		1.50	2.13	1.00	4.00	1.33	1.85	10.30	0.96
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			2.00				0.67		1.33
STD	性器クラミジア感染症			2.00				0.67	1.00	1.50
	性器ヘルペスウイルス感染症		0.50					0.17	0.17	
	尖圭コンジローマ									0.17
	淋菌感染症			0.50				0.17	0.50	0.33
基幹	細菌性髄膜炎									
	無菌性髄膜炎									
	マイコプラズマ肺炎			3.40			9.00	3.26	6.01	7.63
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る)									
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		4.00	3.20				2.50	3.63	3.25
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		35.33	72.70	101.29	71.00	82.75	53.27	78.11	56.78	54.53
前月		19.01	35.11	77.92	52.75	46.00	52.83			
前年同月		30.50	43.06	62.51	54.50	84.75	49.15			

注目される疾患の月別推移



高知県感染症情報（月報）
2025年11月

検査情報

ウイルス、細菌の分離状況

令和7年11月はウイルス53件の搬入があり、そのうちウイルス44件の病原体を検出し、10月に搬入された検体からウイルス20件検出された。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus1 1件、Adenovirus2 1件、AdenovirusNT 2件、Cytomegalovirus 1件、Echovirus 9 1件、EnterovirusNT 1件、Epstein-Barr virus 1件、Herpes simplex virus 1 2件、Human herpes virus 6 3件、Human herpes virus 7 1件、human parvovirus B19 5件、Influenza virus A H3 NT 8件、Influenza virus B/Victoria 3件、Parainfluenza virus 1 1件、Parainfluenza virus 2 1件、Parainfluenza virus 4 2件、Respiratory syncytial virus B 1件、Rhinovirus 12件、SARS-CoV-2 17件であった。

ウイルス、細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	94	男	急性呼吸器感染症 (COVID19)	腎機能,	唾液	9/10	SARS-CoV-2(解析不能)
2	18	女	急性呼吸器感染症 (COVID19)	38℃,	唾液	9/12	SARS-CoV-2
3	14	女	急性呼吸器感染症 (COVID19)	39℃,	唾液	9/12	SARS-CoV-2
4	89	男	急性呼吸器感染症 (COVID19)	—	唾液, 喀痰	9/12	SARS-CoV-2(解析不能)
5	74	女	急性呼吸器感染症 (COVID19)	咳嗽,	喀痰	9/14	SARS-CoV-2
6	95	男	急性呼吸器感染症 (COVID19)	38℃,	喀痰	9/17	SARS-CoV-2
7	12	女	急性呼吸器感染症 (COVID19)	38℃,	唾液	9/22	SARS-CoV-2
8	15	男	急性呼吸器感染症 (COVID19)	39℃, 咳嗽,	唾液	9/24	SARS-CoV-2
9	69	女	急性呼吸器感染症 (COVID19)	—	唾液	9/24	SARS-CoV-2
10	9	女	急性呼吸器感染症 (COVID19)	38℃, 咳嗽,	唾液	9/27	SARS-CoV-2
11	11	男	急性呼吸器感染症 (COVID19)	39℃, 咳嗽,	ぬぐい液	10/3	SARS-CoV-2(解析不能)
12	1	女	急性呼吸器感染症 (COVID19)	39℃,	ぬぐい液	10/3	SARS-CoV-2
13	6	男	急性呼吸器感染症 (COVID19)	39℃, 嘔吐, 腹痛, 筋肉痛,	ぬぐい液	10/4	SARS-CoV-2(解析不能)
14	13	男	急性呼吸器感染症 (COVID19)	38℃,	ぬぐい液	10/6	SARS-CoV-2
15	8	男	急性呼吸器感染症 (COVID19)	咳嗽,	ぬぐい液	10/6	SARS-CoV-2(解析不能)
16	77	女	急性呼吸器感染症 (COVID19)	—	ぬぐい液	10/10	SARS-CoV-2(解析不能)
17	12	男	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ様疾患)	咳嗽,	ぬぐい液	10/21	Enterovirus NT
18	1	男	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ様疾患)	38℃, 咳嗽, 上気道炎,	鼻汁	10/22	Adenovirus 1 Rhinovirus
19	11	女	急性呼吸器感染症 (COVID19)	41℃,	ぬぐい液	10/24	SARS-CoV-2(解析不能)
20	15	女	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ)	39℃, 咳嗽, 関節痛,	ぬぐい液	10/24	Influenza virus A H3 NT
21	5	女	不明発疹症	発疹,	ぬぐい液	10/28	Rhinovirus
22	11か月	男	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ様疾患)	40℃, 咳嗽,	鼻汁	10/28	Parainfluenza virus 4 Rhinovirus Respiratory syncytial virus B
23	5	男	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ)		ぬぐい液	10/29	Influenza virus A H3 NT
24	1	男	水痘	発疹,	ぬぐい液	10/29	Rhinovirus
25	9	男	不明発疹症	発疹,	ぬぐい液	10/31	human parvovirus B19 Human herpes virus 7
26	6か月	男	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ)	39℃,	ぬぐい液	10/31	Influenza virus A H3 NT
27	1	男	突発性発しん	40℃, 発疹,	ぬぐい液	11/1	Human herpes virus 6
28	8	女	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ)	40℃, 咳嗽,	ぬぐい液	11/4	Influenza virus A H3 NT
29	1か月	女	—	38℃, 上気道炎,	ぬぐい液	11/4	Rhinovirus
30	10か月	女	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ様疾患)	38℃, 咳嗽, 上気道炎,	鼻汁	11/5	Rhinovirus
31	13	女	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ)	40℃, 咳嗽,	ぬぐい液	11/6	Influenza virus B/Victoria
32	6	男	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ様疾患)	38℃,	鼻咽頭ぬぐい液	11/6	Adenovirus NT Parainfluenza virus 1 Parainfluenza virus 2 Rhinovirus
33	8	女	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ)	39℃, 咳嗽,	ぬぐい液	11/7	Influenza virus A H3 NT
34	7	女	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ)	40℃,	ぬぐい液	11/8	Adenovirus 2 Influenza virus A H3 NT
35	1	男	ヘルペス感染疑い	39℃, 口内炎,	ぬぐい液	11/8	Cytomegalovirus Epstein-Barr virus Herpes simplex virus 1 Rhinovirus
36	13	女	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ)	40℃, 咳嗽,	ぬぐい液	11/8	Influenza virus B/Victoria

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
37	8	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	40℃, 下痢,	ぬぐい液	11/10	Influenza virus A H3 NT
38	7	女	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	11/10	human parvovirus B19
39	6	男	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	11/10	human parvovirus B19 Human herpes virus 6 Rhinovirus
40	13	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃, 咳嗽,	ぬぐい液	11/11	Influenza virus B/Victoria Rhinovirus
41	8か月	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽, 上気道炎,	鼻汁	11/11	Rhinovirus
42	4	男	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	11/12	human parvovirus B19
43	1	女	ヘルパンギーナ	40℃, 口内炎,	ぬぐい液	11/12	Herpes simplex virus 1
44	4	女	不明発疹症	発疹,	ぬぐい液	11/13	Rhinovirus
45	3	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	40℃, 下痢,	ぬぐい液	11/15	Adenovirus NT Echovirus 9 Influenza virus A H3 NT Parainfluenza virus 4
46	4	女	不明発疹症	40℃, 発疹,	ぬぐい液	11/17	human parvovirus B19 Human herpes virus 6

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2025年											2025年総計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
A群溶血性レンサ球菌咽頭	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1			2	1									3
	<i>Streptococcus pyogenes</i> Untypable										1			1
	Rhinovirus							1						1
	計			2	1			1		1				5
RSウイルス感染症	Adenovirus 1									1				1
	Adenovirus 2						1							1
	Parainfluenza virus 3							1		1		1		3
	Respiratory syncytial virus A						4					4		8
	Respiratory syncytial virus B						2	3	1	4	2	6		18
	Rhinovirus						1	2			3	3		9
計						8	6	1	6	5	14		40	
咽頭結膜熱	Adenovirus 1											1		1
	Adenovirus 2							1						1
	Adenovirus 5			1					1					2
	Adenovirus C								1					1
	Human herpes virus 6									1				1
	Parainfluenza virus 3								1					1
	Rhinovirus			1				1	1			1		4
計			1	1			1	4	1	1		2	11	
インフルエンザ	Epstein-Barr virus			1										1
	Influenza virus A H1pdm09	15	2											17
	Influenza virus A NT	1												1
	Influenza virus A H3 NT	3	2	1										6
	Influenza virus B/Victoria		2	2	1									5
	Rhinovirus										1			1
計	19	6	4	1						1			31	
感染性胃腸炎	Adenovirus 2		1		1									2
	Adenovirus 41				1	1								2
	Astrovirus NT			1										1
	Norovirus GII NT		2	7	7									16
	Rhinovirus				1									1
	Rotavirus group A G1							1						1
	Rotavirus group A G3							1						1
	Rotavirus group A G8			1		1	1							3
	Rotavirus group A NT						1							1
Sapovirus genogroup unknown			1	2	2								5	
計		4	9	13	6	1							33	
新型コロナウイルス感染症	SARS-CoV-2	22	21	12	4									59
	計	22	21	12	4									59
水痘	Human herpes virus 7						1							1
	human parvovirus B19								1					1
	Rhinovirus									1			1	2
	Varicella-zoster virus	1				2	1							4
	計	1				3	2			1			1	8

臨床診断名	病原微生物	2025年										2025年総計		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		11月	
手足口病	Coxsackievirus A4									2				2
	Coxsackievirus A10										1			1
	Cytomegalovirus								2	1				3
	Echovirus 9								1					1
	Echovirus 18								2					2
	Enterovirus71	1	1						1	2				5
	Epstein-Barr virus	1						1		2				4
	Human herpes virus 6		1							1	2			4
	Human herpes virus 7								2	2	1			5
	human parvovirus B19									1				1
	Parainfluenza virus 1								1					1
	Parainfluenza virus 3								1					1
	Rhinovirus		1						1	1	5	2		10
	計		2	3					4	6	18	7		40
伝染性紅斑	Adenovirus 2						1							1
	Adenovirus 41				1									1
	Adenovirus 54						1							1
	Adenovirus C								1					1
	Echovirus 18								1					1
	Epstein-Barr virus						1				1			2
	Human herpes virus 6		1				1					1	1	4
	Human herpes virus 7		1		7	3	3		1	1				16
	Human metapneumovirus			1										1
	human parvovirus B19		1	2	8	6	5		1	2	3	3		31
	Rhinovirus										2	1	1	4
計			3	3	16	13	8		4	6	5	5	63	
突発性発疹	Echovirus 18							1						1
	Human herpes virus 6	1	1					1	1			1	1	6
	Rhinovirus											1		1
	計	1	1					2	1			2	1	8
ヘルパンギーナ	Coxsackievirus A4							1	5	4				10
	Coxsackievirus A10										1			1
	Herpes simplex virus 1												1	1
	human parvovirus B19									1				1
	Parainfluenza virus 2									1				1
	Parainfluenza virus 3								1					1
	Rhinovirus				1				1					2
計				1			1	7	6	1		1	17	
流行性耳下腺炎	Rhinovirus								1	1				2
	計								1	1				2
その他	Adenovirus 1					1	1							2
	Adenovirus 2		1		1				1			2		5
	Adenovirus C							1						1
	Coxsackievirus A4							1	1					2
	Cytomegalovirus		1	1	1				1		2	1	1	8
	Echovirus 9										4			4
	Echovirus 18		1					2	3	3	4			13
	Epstein-Barr virus			2	1	1	1	2	1	1			1	10
	Herpes simplex virus 1										2		1	3
	Human herpes virus 6		1	2	3	2	2	1		1	1	1	1	14
	Human herpes virus 7				2	3	3	2	3	1	2	1		17
	Human metapneumovirus			2										2
	human parvovirus B19	1		2	1	3			3	1	2	2		15
	Norovirus GII NT		1	1	2	1								5
	Parainfluenza virus NT					2								2
	Parainfluenza virus 1								1					1
	Parainfluenza virus 2											2		2
	Parainfluenza virus 3							1	1					2
	Respiratory syncytial virus A												1	1
	Respiratory syncytial virus B	1												1
	Rhinovirus	1	2	1	2	2	3	5	2	6	4	4		32
	Sapovirus genogroup unknown				1				1					2
	Varicella-zoster virus				1				1					2
Escherichia coli astA, aggR (+)	1												1	
計	4	9	9	15	15	12	15	17	21	19	11		147	
総計	49	48	40	51	46	38	33	56	42	42	19		464	

臨床診断名	病原微生物	2025年									2025年 総計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
急性呼吸器感染症	Adenovirus NT	1	1	1			2		2	7	
	Adenovirus C			4						4	
	Adenovirus 1		1			1	3	1		6	
	Adenovirus 2		3	2	1			1	1	8	
	Coxsackievirus A4			1		1				2	
	Echovirus 9								1	1	
	Echovirus 18		1							1	
	Enterovirus NT			1					1	2	
	Human metapneumovirus	3	1							4	
	Influenza virus A H1pdm09				2	1				3	
	Influenza virus A H3 NT					2	6		8	16	
	Influenza virus A not subtyped				1	1	2			4	
	Influenza virus B/Victoria	6	1	3					3	13	
	Influenza virus B NT						1			1	
	Parainfluenza virus 1				1				1	2	
	Parainfluenza virus 2				2		1		1	4	
	Parainfluenza virus 3		10	14	12	1	1	1		39	
	Parainfluenza virus 4		1		1	1	1	3	2	9	
	Respiratory syncytial virus	1								1	
	Respiratory syncytial virus A		1	1	1					3	
Respiratory syncytial virus B	3	2	3		1	1	1	1	12		
Rhinovirus	14	11	8	6	6	8	4	5	62		
SARS-CoV-2	20	3	2	2	21	8	17		73		
	検査検体数	28	28	27	22	26	25	31	28	215	
	検出検体数	27	24	25	21	25	23	28	15	188	
	検出率 (%)	96.4	85.7	92.6	95.5	96.2	92.0	90.3	53.6	87.4	